

福井県県有施設の LED 化に関するサウンディング型市場調査 の対話結果の公表について

1 調査の目的

本県は、県有施設の既存の照明器具について、リース方式による LED 化を進める事業（以下「本事業」といいます。）の実施検討を進めるため、サウンディング型市場調査（※1）を実施しました。今回、その調査結果の概要について公表します。

（※1）サウンディング型市場調査とは、民間事業者と直接対話をして、事業内容や事業スキーム等に関して、民間事業者の意見や新たな事業提案の把握等を行うものです。

2 サウンディング型市場調査の実施スケジュール

- 令和7年5月 1日 実施要領公表
- 令和7年5月19日～ 対話の実施
- 令和7年6月 6日 結果概要公表

3 結果概要

それぞれの対話テーマに対する対話の概要は次のとおりです。

ア 公告（公募の開始）時に必要な情報について

- ・ 非常灯・誘導灯の取扱い
- ・ JIL「公共施設用照明器具」で必要施工範囲
- ・ 10年保証の保証範囲及び保証書のひな形
- ・ 削減効果が比較できるような情報（消費電力等）
- ・ 既存器具照明一覧の不記載箇所への記載
- ・ 点灯寿命（4,000時間）を超えた際の対応
- ・ 対象施設一覧（既存照明器具一覧付き）、履行期間、配点資料（評価基準）、提案書類の記載事例、提案限度額、スケジュール、参加形態、応募資格、質疑受付期間及び回答期日、参加表明等の必要書類及び提出期間
- ・ 電機図面、立面図、器具姿図、既存照明器具一覧、点灯時間リスト、電気単価、ウォークスルー、各施設の施工可能日時と時間帯
- ・ アスベストの有無

イ 施工可能な改修期間及び事業規模について

- ・ 改修期間内に全施設対応可能と考える
- ・ 施設候補100施設について1年間での施工は可能と考える
- ・ 工期の延長および分割発注の可否によって対応は変わると考える
- ・ 北部、南部エリアの2案件に分けるなどの発注が望ましいと考える
- ・ 改修内容については現地調査が必要である
- ・ 施工可能な日時が限られる場合、1年間での施工は難しいと考える

ウ その他

- ・全物件へのラベル貼付ではなく、代表物件のみの貼付も可能とすべきと考える
- ・動産総合保険について新価特約付きまたは一般的な動産総合保険を提案者の選択性にすべきと考える
- ・仕様書や技術仕様書の記載内容についてメーカー等が限定されすぎず、複数企業が参入できるような要件に変更すべきと考える
- ・固定資産税の有無
- ・入札保証金及び契約保証金の有無
- ・公募開始から提案書類提出までの期間について適切な期間設定が必要である
- ・現地調査確認日の設定が必要である
- ・地元電気設備業者との協業に対する考え方を示すべきと考える
- ・事業者サイドで県内工事事業者をどれだけ確保できるかが重要である
- ・照明器具種類ごとにメーカーを統一するような依頼をする場合、揃わないこともあるため、対応が必要である
- ・オートリフターはメーカー保証切れのため完全撤去とすべきと考える
- ・舞台照明などの特殊な照明は対象外か
- ・原則器具交換とし、デザイン照明などの特殊な場合についてランプ交換とすることは可能か
- ・ESCO 事業は、省エネ効果の削減保証、省エネ効果計測検証、県民へのPR 効果などがある
- ・地方債の活用で事業費を圧縮できる場合もある
- ・廊下など動きを検知する CSL 照明の活用で電気代の更なる削減が可能である

4 結果を踏まえた対応

今回のサウンディング型市場調査では、検討が必要な事項を含め、様々なご意見やご助言をいただきました。結果を踏まえ、令和7年6月3日から“県有施設照明 LED リース業務”の公募型プロポーザルを開始しました。